



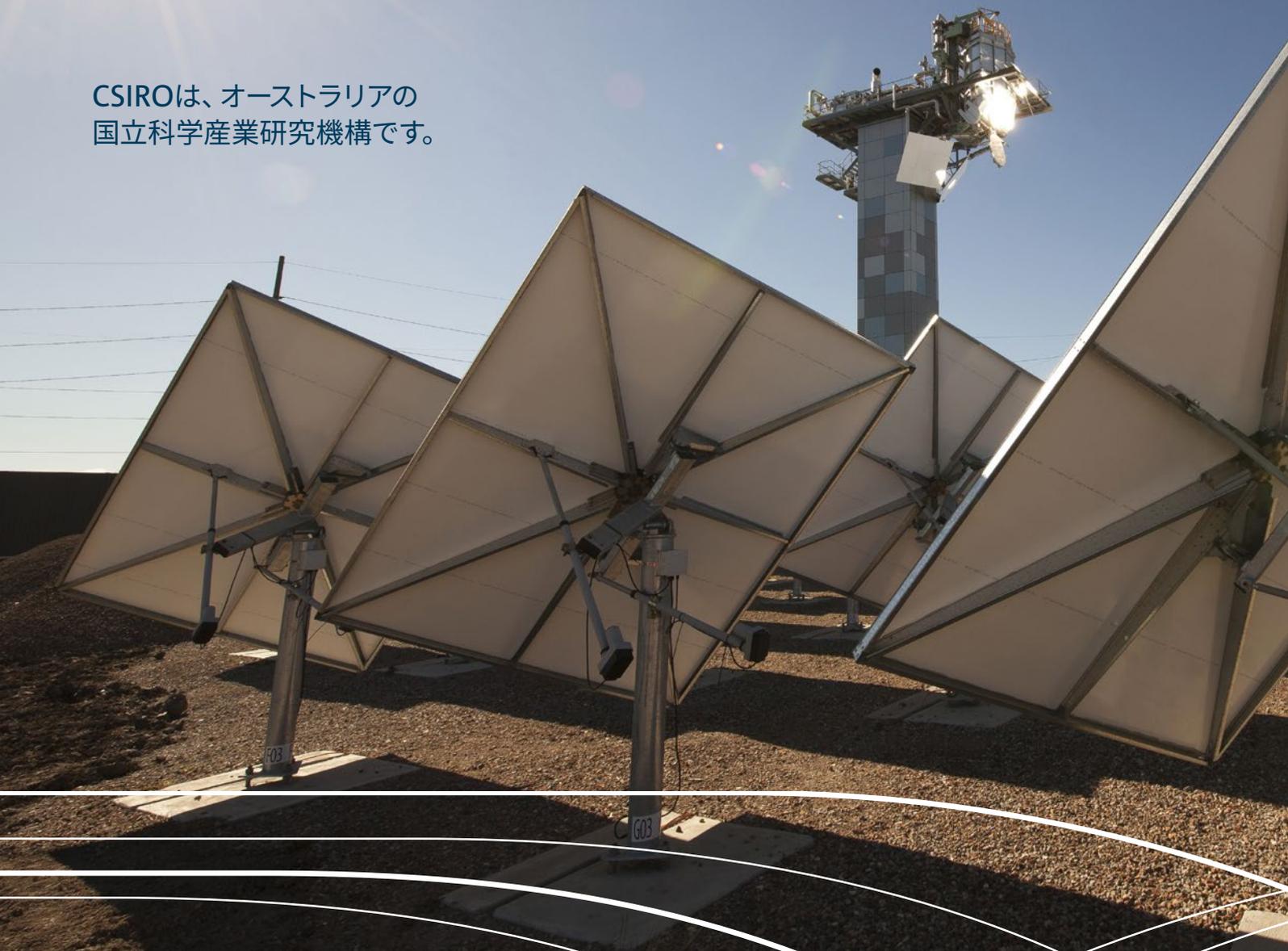
イマジネーション コラボレーション イノベーション

イノベーションを推進するオーストラリアの研究機関



並外れのことを 常に行っています

CSIROは、オーストラリアの
国立科学産業研究機構です。





CSIROは、1916年に設立されたオーストラリア最大の研究機関です。

CSIROは、応用科学と研究を活用して問題を解決し、経済、社会、環境に貢献しています。

また、オーストラリア国立望遠鏡機構や海洋調査船(RVインベスティゲーター)、Pawseyスーパーコンピューティングセンターのような重要な研究施設の管理も行っています。

CSIROはオーストラリア国内と世界中の産業、政府、大学と連携しています。

CSIROは非営利の公的機関です。4年ごとにオーストラリア政府から資金提供を受けますが、研究の優先事項と戦略は政府との協議の上で私達が決定する仕組みになっています。

また、パートナーとの受託研究や技術のライセンス供与からも収益を得ています。

CSIROは、「2020戦略」に従い、研究成果を産業界に「橋渡しをし」、当機構の職員およびオーストラリアの他の研究者のアイデアを商業化するための研修を実施することで、オーストラリアにおけるイノベーションの実績向上を図っていきます。

CSIRO「2020戦略」には、国益につながるグローバルな展望を提供する、の項目がありグローバルな展開もCSIROの重要な役目です。

CSIROの主なイノベーション



高速WLAN
無線LANを可能にします



ポリマー紙幣



インフルエンザ治療薬
『リレンザ』



『トータル・ウェルビーイング』
ダイエット法



ヘンドラウィルス用
『Equivac®』 HeVワクチン



『ソフトリー』洗濯洗剤



セルフツイスト糸



長時間装用コンタクトレンズ



『Barleymax™』
高繊維全粒粉



RAFT重合



防虫剤『エアロガード』



『Novacq™』エビ用餌

オーストラリアのイノベーションを促進します

重点分野



農業・食品



土地・水資源



天文学・宇宙科学



出版



データ・デジタル



製造



研究基盤



コンサルティング
サービス



エネルギー



鉱物資源



研究用各コレクション



健康・バイオセキュ
リティ



海洋・大気



教育

CSIROの構造

CSIROは、オーストラリア連邦への義務があります。

CSIROの方向性は、CSIRO理事会とCSIROエグゼクティブチームが設定します。



CSIROが展開する 協働活動

CSIROは、オーストラリア国内外のパートナーと提携し、中小企業、多国籍企業を含む産学官と連携しています。

共同または
委託研究プロジェクト



技術ライセンス
提供



ハイテク新興
企業のインキュベ
ーション



持分の取引



設備の
オープンアクセス



グローバルパー
トナー経由でサブ
ライチェーンにリンク



研究員の配置



中小企業向け
の追加支援



業界を刺激す
る政府調達



CSIROはイノベーション創出の ために連携を図ります

CSIROは、世界に広がるパートナーと
提携しています。国際連携活動の
例をご紹介します。





CSIROは、40年以上にわたり中国科学院 (CAS) と連携しています。両機関は、共同プロジェクト、ワークショップ、スタッフ交流を支援するための資金を共同出資します。



三菱日立パワーシステムズ (MHPS) は、CSIRO設計のヘリオスタットと太陽熱エネルギーの研究を活用した研究プロジェクトのために、150基のヘリオスタットを設置した施設を横浜に建設中です。



CSIROは、韓国科学技術院 (KAIST)、仁荷大学、漢陽大学と材料科学の分野で連携しています。



CSIROは、オーストラリア政府や南アジア各国政府と連携して、水資源管理と水の安全に対処しています。



チリでは、サンティアゴを本拠地に、CSIRO CHILEを通じ鉱業、海洋、エネルギー、水資源、その他の応用研究のプロジェクトに取り組んでいます。当機関は政府や多国籍企業のプログラムにおいて研究パートナーと連携します。



CSIROは、フランスの企業CLEXTRAL社と粉末原料の乾燥および押出技術などの食品加工技術で協働しています。



CSIROは、より収穫量が多く、害虫に抵抗性のある新種の綿を開発しました。オーストラリアの綿のすべて、米国の乾燥地綿の半分、ブラジル、トルコ、ギリシャの綿の約1/3はCSIROが育成した品種から生産されています。



CSIROは、寿命が長く、経済的で、超高速で充電できるバッテリーを開発しました。これは、日本の古河電池株式会社がライセンスを受けて製造を行っており、米国のEast Penn Manufacturing Co. Inc が米国内での流通を担当し、既にホンダのインサイトに使われています。



CSIROは、世界初のミツバチの動きを監視するための研究プログラムの一環として、何千匹ものミツバチに小さなセンサーを装着しました。このテクノロジーをアマゾン地域で利用するために、ブラジルのVale Institute of Technologyと連携しています。

未来を形創る

CSIROは、オーストラリア国内の55カ所の拠点に5,000人超のスタッフを採用しています。

完全子会社であるCSIRO CHILEは、サンティアゴ(チリ)を本拠地とし、アントファガスタ(チリ)に事業所があります。



最新の情報を今すぐお確かめいただけます

CSIROのe-ニュースにご登録ください：www.csiro.au/snapshot

並外れのことを常に行っています

私達は将来に向けてイノベーションを実行し、今日の改善を支援します - お客様、そしてオーストラリアと世界の人々のために。

イマジネーション
コラボレーション
イノベーション



お問い合わせ

t +61 3 9545 2176
e csiroenquiries@csiro.au
w www.csiro.au

フォロー

